

9：裁判所は「権利の砦^{とりで}」たりうるか

概 要	裁判所が変わりつつあります。1990年代の司法制度改革の議論を経て、裁判所の役割に対する社会の関心が増加し、裁判所の側も、社会に期待される役割を意識するようになってきました。ここ10年のいくつかの分野における裁判例の変化には目を見張るものがあります。また、昨年始まった裁判員制度は刑事裁判をどう変えるのでしょうか。本講座では、裁判所の組織・機能等について歴史的・比較法的に概観したうえで、近年の裁判・裁判所の注目すべきトピックを具体例をふまえて解説します。「権利の砦」としての裁判所が、その役割を果たすことができているか、一緒に検証していきませんか？	
時 間	13時30分 ～ 15時00時	
会 場	広島大学 東千田キャンパス 207講義室 (広島市)	
収容定員	50名	
受 講 料	4,000円	
1回	8/21 (土)	「裁判」とは何か？ 社会科学研究科 教授 横山 信二 「司法（権）」「裁判」等の概念について、歴史的・比較法的に概説します。「英米型」「大陸型」のせめぎあいの中における、日本の裁判（所）の特徴を浮き彫りにします。
2回	8/28 (土)	「憲法（人権）の番人」としての裁判所（1） 社会科学研究科 教授 西村 裕三 司法審査制の理論を明らかにした上で、この60年の憲法訴訟の展開過程を概観します。
3回	9/4 (土)	司法制度改革の目指したもの 社会科学研究科 教授 横藤田 誠 今日の裁判所のありように1990年代の司法制度改革の議論が与えた影響は少なくありません。改革をもたらした要因は何だったのでしょうか、改革の議論の内容・成果はどう評価されるのでしょうか。
4回	9/11 (土)	「憲法（人権）の番人」としての裁判所（2） 社会科学研究科 教授 西村 裕三 司法消極主義から司法積極主義に転じたかに思われる最近の重要な裁判例について解説します。
5回	9/18 (土)	行政判例の新動向 社会科学研究科 准教授 手塚 貴大 従来原告の期待に応えることの少なかった行政裁判が様変わりしています。最近の注目すべき最高裁判例を中心に行政判例（租税判例を含む）の現状を解説します。
6回	9/25 (土)	裁判は医療被害者を救済できるか？ 社会科学研究科 教授 横藤田 誠 医療裁判が激増しています。特に刑事司法が医療に介入する傾向が強まっています。裁判によって医療過誤の被害者は本当に救済されるのでしょうか。
7回	10/2 (土)	裁判所は消費者を保護するか？ 社会科学研究科 准教授 堀田 親臣 近年整備されてきた消費者保護法制に関する最近の注目判例を解説します。
8回	10/16 (土)	裁判員裁判の理想と現実 社会科学研究科 教授 松生 建 裁判員制度が実施されて1年以上が過ぎました。制度の目的は何だったのでしょうか。その目的は実現しているのでしょうか。裁判員裁判の現状を検証します。

* 問い合わせは

広島大学エクステンションセンター

電 話： 082-424-6140, 5691

メール： extension-senmter@office.hiroshima-u.ac.jp